

あわら 市議会だより

議長、副議長を選出	2p
5月定例会報告	4p
議会報告会	5p
委員会報告	8p
一般質問	11p
議案と結果	14p
請願・意見書	15p
議会日誌・ふるさと探訪	16p

常任委員会 構成

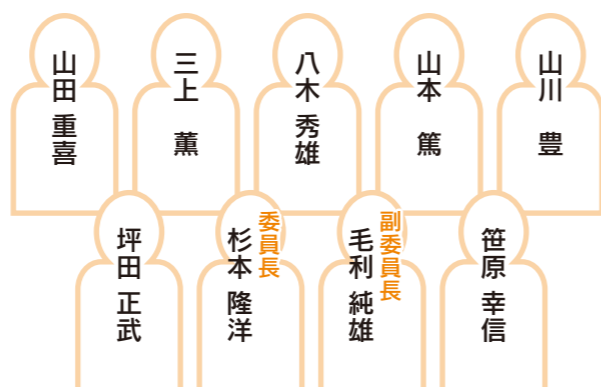
総務文教常任委員会

総務部、財政部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項の審査、調査を行います。



厚生経済常任委員会

市民福祉部、経済産業部、土木部、芦原温泉上水道財産区水道部および農業委員会の所管に関する事項の審査、調査を行います。



議会運営委員会・特別委員会 構成

議会運営委員会 (6名)	委員長 向山 信博 委員 吉田 太一	副委員長 杉田 剛 委員 杉本 隆洋 坪田 正武 卯目ひろみ
広報編集 特別委員会 (7名)	委員長 坪田 正武 委員 山本 篤 山田 重喜	副委員長 山川知一郎 委員 平野 時夫 毛利 純雄 卯目ひろみ
議会活性化 特別委員会 (7名)	委員長 山川知一郎 委員 毛利 純雄 八木 秀雄	副委員長 卯目ひろみ 委員 吉田 太一 杉本 隆洋 坪田 正武

※議長はすべての委員会にオブザーバーとして出席します。

監査委員 東川 継央
あわら市の財務や事業について監査を行います。

7月臨時会

新たな議会の構成決まる 笹原幸信 議長、坪田 正武 副議長を選出

7月1日に第66回あわら市議会臨時会が開催され、議長、副議長の選挙が行われたほか、常任委員会など、今後の議会運営で必要な議会の組織が決まりました。

就任のあいさつ

市民の皆様には、平素より、市政並びに市議会に對しまして、温かいご理解と力強いご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。私たちは、7月の市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。

今後とも、議会の果たすべき役割を十分認識し、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。さて、合併から10年が経過する来年度より地方交付税の優遇措置が段階的になくなり、また、人口減少が加速し、なおかつ都市間競争が激化している時代であり、市を取り巻く環境は激しい中にある。そのような中で、未来を担う子ども達の健全な育成や少子化への対策、高齢者などに対する医療・福祉対策、さらに環境対策、防災対策などを着実に推進していかねばなりません。私たち市議会は、行政から提出される議案に對して、理事者の提案をそのまま追認するのではなく、是々非々で対応し日々研鑽を積み、幾多の課題に正面から取り組み市民の負託にこたえるべく全力を尽くしてまいります。市民の皆様には、今後とも市議会の活動や市政について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさついたします。



議長 笹原 幸信



副議長 坪田 正武



議長選挙の様子

議会報告会

4月に開催した議会報告会では、市民の皆様にご多くの貴重なご意見をいただきました。その時にいただいた質問・要望について、市に対して回答を求めましたので、その結果を掲載します。

《回答》宿場町が育んできた伝統・文化をテーマに、駅前「にぎわい交流広場（仮称）」から生涯

●金津のまちづくりであるが、昔の宿場町らしいまちづくりは考えていないのか、また観光客が再訪しなくなるテーマはあるのか。

■政策課所管

《回答》「あわら男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画推進市民会議及び男女共同参画ネットワークが中心となり、各種研修会の開催や啓発活動をおして市民や団体、企業などに男女共同参画のまちづくりを推進します。

■総務課所管

●男女共同参画を、今後、具体的にどのように進めるのか。

《回答》「あわら男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画推進市民会議及び男女共同参画ネットワークが中心となり、各種研修会の開催や啓発活動をおして市民や団体、企業などに男女共同参画のまちづくりを推進します。

●温泉情緒あふれる華やきのまちづくり

学習複合施設「金津本陣I-KOSSA（いこっさ）」を結ぶエリアに、「本陣飾り物」の常設展示場や「狂言・金津地蔵」をテーマとした地蔵のミニメントを配置するほか、休憩施設などを設置することとしています。

事業で、温泉街の街路灯を更新するらしいが、その電気代の負担は誰がするのか。現在は住民で電気代を負担しているが、空き家が増えている状況であり、今後は負担が難しくなっている。

●足湯の維持管理はどうするのか。

《回答》完成後の足湯は、「あわら湯のまち駅前広場」の指定管理者であるあわらし観光協会の管理施設に加えることとなりますが、維持管理費の低減を図るため、源泉かけ流しや省エネ機器の導入などにより、経費を抑えることにしています。



温泉街の街灯



乗合タクシー

■市民生活課所管

●乗合タクシーだが、タクシー会社によって時間どおりに来ない場合がある。

《回答》利用者の皆様には、途中で乗り合わせるため、ご予約の時間に余裕を持っていただくようお願いしているところです。しかし、タクシー会社によっては、時間どおりに来ないというご指摘ですので、そのようなことの無いようタクシー事業者を指導します。

5月定例会

平成25年度一般会計補正予算(第1号)

5,033万2千円を増額



書楽(6月23日)

- 一般会計予算総額は123億2,033万2千円に
- 国に準じ 7月より職員等の給与を平均3.1%削減
- 人権擁護委員 吉田眞己さんの推薦に同意
- 議会推薦の農業委員に伊藤邦子さん、長谷川信枝さん、富田毅矩男さん、伊藤忠雄さんの4名を推薦

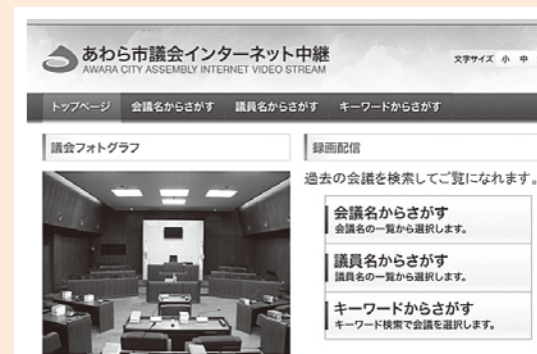
平成25年5月定例会が5月20日から24日までの会期で開催されました。今定例会では、環境対策調査特別委員会、中心市街地活性化調査特別委員会の結審報告が行われ、専決処分の承認を求める3議案、繰越計算書の報告に関する2議案、平成25年度補正予算に関する2議案、条例の制定及び改正に関する4議案、人事に関する1議案の計12議案が上程され、すべて原案のとおり可決(承認)しました。

なお、今回は5名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、請願1件を不採択とし、議員発議による意見書2件を可決しました。

議会インターネット中継を行っています

あわら市議会は本会議及び常任委員会の録画中継を行っています。インターネットに接続できる環境があれば、議会で開催した会議を映像で、「いつでも」「どこからでも」「何回でも」視聴できますので、機会がありましたら、ご覧ください。

《閲覧方法》
あわら市のホームページにアクセスしていただき、トップページの「議会インターネット中継」をクリックしてください。URLは次のとおり
<http://www.awara-city.stream.jfit.co.jp/>



議会インターネット中継 ホームページ

●新幹線金沢開業後、北陸線の特急は減便となるが、その対策はどうするのか。

《回答》北陸新幹線金沢開業に伴いJRから経営分離される並行在来線については、それぞれの県ごとに第三セクターにより新たに運営されます。

それ以外の区間については、今のところこれまでどおりの運行と聞いています。

望みますが、事情に精通されている地元住民の総意として、あわら警察署へ直接要望することもお願いいたします。

■農林水産課所管

●私有林に入山する人のマナーが悪い。個人での対応は限界があり、市の方で看板等の取り付けは出来ないのか。

《回答》市では、熊出没の注意喚起や山へのゴミの不法投棄禁止などの看板設置は行っていますが、私有林への入山に係る看板設置は個人での対応をお願いいたします。

■観光商工課所管

●JR芦原温泉駅前の「あわらんてな」の運営に関して、本年度はどのように行う計画なのか。

《回答》市では、熊出没の注意喚起や山へのゴミの不法投棄禁止などの看板設置は行っていますが、私有林への入山に係る看板設置は個人での対応をお願いいたします。

●あわら市の企業誘致は進んでいるのか、今後はどうなのか。

《回答》合併以来、立地した件数は12件、現在その他に1件を予定しています。また、古屋石



あわらんてな

塚テクノパークの未売却地(1・68ha)への誘致を進め、新たな団地造成も検討していきます。

●あわら市の事業の成果はどうだったのか。

《回答》男女合わせて200人の募集のところ、273人の応募がありました。応募者の内訳は市内22%、市外78%。温泉街の10店舗で実施し、多数の若者でにぎわい好評を博し、市内外の若者に温泉街や飲食店を大いにPRすることができました。

《回答》合併以来、立地した件数は12件、現在その他に1件を予定しています。また、古屋石



JR芦原温泉駅前通り

●駅前シャッター街だが、どのような対策を考えているのか。

《回答》北陸新幹線金沢開業に向け、ふるさと創造プロジェクト事業などにより駅前周辺の整備を進めています。

その整備に合わせ、空き店舗チャレンジショップや空き店舗を利用した本陣飾り物展示などを実施し、商店街の再生や中心市街地の賑わい創出に努めます。

■建設課所管
●新幹線の負担だが、3億円位で済むのか。

《回答》整備新幹線に係る地元負担金は、事業費に貸付料を充てた残額に対して、国と県が2対1で負担することになっています。

また、福井県内では、駅部を含む用途地域内の事業費に対して、県が負担した金額の1割を市が負担することになっています。

これをあわら市に当てはめると、北陸新幹線の芦原温泉駅舎を含み、高塚跨線橋南側から竹田川右岸までの880mが負担の対象となり、現在の試算によると約3億円となっています。

なお、交付税措置があることから、実質負担は軽減されると考えています。

次に、議会に対する質問に回答します

●議会報告会だが、議員と参加者が対面式だと距離感がでるのではないか。



議会報告会 (湖東会館)

《回答》議会報告会の開催方法や「報告会」の名称も含め、改選後の議会でご意見を参考に検討させていただきます。

●都市計画道路金津三国線の周辺だが、ゲンキータと木村病院しか建っていない。これではあわら市としての一体感がでないのではないか。

《回答》都市計画道路金津三国線は金津市街地と芦原市街地の時間距離を縮め、市街地間交流を容易にする役割を担うもので、近年、市街地中心部の空洞化を招いてきた郊外型の開発を誘導するための道路ではありません。

現在着手された芦原街道までの2期工事の区間が完成すれば、市街地間の行き来がよりスムーズとなり、両市街地にとって利用度の高い有益な道路となると考えております。



都市計画道路 金津三国線

■教育総務課所管

●市内の学校では「体罰はない」とのことだが、どのような調査をしたのか。アンケートは実施したのか。

《回答》教職員の児童生徒への指導状況について点検を行いました。特に、部活動における指導に関しては、管理職が顧問教師や各部の代表から指導状況について聴取し指導実態を把握しました。

●芦原中学校の国際交流であるが、中国以外の国へは行けないのか。

《回答》国際交流事業は、両中学校が独自で結んだ姉妹校締結による学校間の友好交流生徒派遣となっています。

芦原中学校は紹興文理学院附属中学校(中国紹興市)と、金津中

●給食センターのアレルギーマッチは問題ないのか。

《回答》食物アレルギーは、生命の危険にもつながる恐れがある疾患で、年々増加傾向にあります。学校給食が原因でアレルギー症状が悪化したり、給食が食べられ



建設中の学校給食センター

学校はケリーミドルスクール(アメリカ、オレゴン州、ユージン市)と姉妹校の締結をしています。

このため、それぞれの学校で訪問先を入れ替えたり、別の国の学校に派遣することは、受け入れ先となる相手方学校の承諾が必要となることから、今後の検討課題であると考えています。

●議会報告会だが、議員と参加者が対面式だと距離感がでるのではないか。

《回答》議会報告会の開催方法や「報告会」の名称も含め、改選後の議会でご意見を参考に検討させていただきます。

総務文教常任委員会

平成25年度
一般会計補正予算

■総務課

**防犯灯設置事業補助金
300万円増額**

委員2か月足らずで補正予算を計上した理由はなにか。

理事者当初予算600万円は24区から申請があり既に消化済みになっている。

今回新たに5区より申請があり、そのための予算である。今後も、申請があれば補正予算で対応する予定である。



LED防犯灯

■政策課

**ふるさと創造
プロジェクト事業**

委員補助事業終了後、花の管理はどうするのか。

理事者現在は、JR芦原温泉駅前とあわら湯のまち駅前に限定して花を飾っている。

管理については、フラワーサポート協議会で検討するようになる。補助事業実施2年間で、まちなかを花で飾っていいという意識を市民に持っていただくのが狙いであり、事業後もバランスを



えち鉄 あわら湯のまち駅前

考えながら、一定の苗の供給は必要と考えている。今後は花を通して市民が自分の地域を誇れるまでに花に携わってほしいと思っている。



JR芦原温泉駅前

■文化学習課

**生涯学習施設土地
借り上げ料20万円**

委員 金津神社より駐車場用の場所を借り上げ、金津本陣IKOSSAの職員用を使用することとだが、道を隔てたところを職員用にはどうか。



金津本陣IKOSSA

あわら市一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例

委員 現在のラスパイレス指数が103・1であるため、国の要請により職員の給与を今年の7月から来年の3月まで、平均3・1%削減する。
国は民間に対して賃上

ラスパイレス指数とは

平均給与額を、国家公務員の職員構成を基準として、一般行政職における学歴別、経験年数別に比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数。

■議案外の案件

新学校給食センターについで

平成25年9月から新学校給食センターの給食を配食する予定でしたが、土地収用法による事業認可の事務手続きに時間を要し、本格的な工事着工が2ヶ月程度遅れたため、配食開始が冬休み明けの平成26年1月10日からなるとの説明がありました。

委員会では、工期を順守し突貫工事をするよりも、時間がかかっても良いものを建設するようにとの意見がありました。
また、この遅れについて、教育委員会から謝罪がありました。

厚生経済常任委員会

平成25年度
一般会計補正予算

■福祉課

**生活保護ネットワーク
システム保守委託料
367万5千円**

委員 生活保護法が改正され、不正・不適正受給対策の強化を図るとあるが、具体的にどのような強化するのか。

理事者 調査は福祉事務所のケースワーカーが行うのだが、就労等の収入について、無申告の場合に就業先への立ち入り調査を行うことができる。

また、不正申告の罰則が強化される。なお、生活保護者の扶養義務者の収入調査もできる内容である。

■農林水産課

**林道新設改良経費
1千250万円**

委員 改修工事をどうして3年間に分けて実施するのか。

理事者 林道市野々刈安線において、コンクリート擁壁の変化が確認され林道崩壊の危険性があるため早急に改修工事を行うものである。

改修工事は県の補助事業を利用する。市としては、1年で工事を行いたいと県に予算を要求したが、県からの内示額が少なかつたため、3年に分けて工事を実施する。

■観光商工課

**映画「サクラサク」
製作支援事業
補助金300万円**

委員 補助金を支出することにより、あわら温泉が映画のロケ地の一つとなる。そのことにより、あわら温泉を全国にPRできるのか。



映画サクラサク ホームページ

理事者 映画「サクラサク」は田中光敏監督が手掛ける。田中監督の作品は、非常にレベルが高く評価も高い。東映が直接たすさわり、全国公開を予定している作品である。全国的にあわら温

■建設課

**リフォーム支援事業
補助金80万円**

委員 この事業は、多世帯同居の推進を図ることを目的に、既存住宅の間取り変更工事等に係る経費を補助するものである。県内の建設業者が施工することが補助金を受ける条件になっているが、条件をより狭くし、あわら市の建設業者とすることはできないのか。

理事者 リフォームの発注者は住宅所有者であり、発注者が業者を選ぶことになる。県の補助事業で他市町も実施しており、市内の業者限定にするとはできない。

■議案外の案件

**老人福祉センター
百寿苑についで**

百寿苑の老朽化に伴い、当該施設の取扱いについて、理事者から提案がありました。

百寿苑は老朽化が著しく、しかも地盤沈下もあり改修が難しい状況である。

よって、今後、3年から5年をかけて市姫荘を含めた老人福祉センターそのものの在り方を検討

させてほしい。暫定的にあわら温泉の空き施設を改修し、百寿苑の代替施設として5年程度利用したいとの内容でありました。

今後、関係者との協議に入ることです。



林道市野々刈安線



老人福祉センター百寿苑



老人福祉センター市姫荘

特別委員会報告

環境対策調査特別委員会

平成21年9月議会で設置した当委員会の最終報告を行いました。

不法な土砂採取については、許認可権は県にあるが、意見書等で市も関与しており、県に市民目線で申し入れていくべきであると要請しました。

北潟湖の水質問題については、水質測定表を見ると、15年前から数値は変わっていないので、変化がない理由を分析し、しっかりと対応してほしいと要請しました。

廃棄物不法投棄については、赤尾地係での不法廃棄物の回収が改善計画どおり進捗していないので、回収を厳しく促すべきであると要請しました。

また、藤田組跡の倉庫の中に大量の産廃があるが、自然発火の可能性も

中心市街地活性化特別委員会

この委員会は、平成21年9月議会で、市街地活性化についての調査・研究を目的に9人の委員で設置されました。

調査内容は、北陸新幹線整備に伴うJRR芦原温泉駅周辺整備について、えち鉄あわら湯のまち駅前多目的広場の整備及び利活用について、その他中心市街地活性化に関することで、会議や視察研修を行いました。

新幹線では、途中政権交代により公共事業の見直しの対象となることもありましたが、昨年6月末に着工が認可され、12年後には敦賀まで開業予定となりました。芦原温泉駅周辺では、西口、東口の駐車場整備、アクセス道路の一部拡幅、工場跡地のにぎわい交流広場整

備などを行いました。また、2年後に金沢まで開業する北陸新幹線の観光客を誘致するため、えち鉄湯のまち駅前多目的広場の整備も含め、街中散策コースを作るなど、工夫がみられました。そして、現在の芦原温泉駅にエレベーターを設置するよう要望も行いました。

視察研修では、主に人の集まる場所づくり、新幹線によるまちづくり、空き家対策などについて行いましたが、どの視察先でも話を伺ってみると私たちと同じような悩みをかかえ、模索していることが分かりました。

空き家の利活用、レストラン経営については、NPO法人などを組織する住民が行政を頼らず運営している所が多くあります。

全体を通して、各委員の発言には、その事業が何のために誰のために行うのかを考えてほしいという一貫した意見と、地元の見解と協力が不可欠であるとの声が多くあったことを申し上げて報告とします。



不法投棄の例



湯のまち広場

市政について問う!

5月の定例会では、5名の議員が一般質問を行いました。ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



吉田 太一 議員

- 温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり整備計画について
- 金津本陣にぎわいプロジェクトについて



牧田 孝男 議員

- 語り部の育成について



八木 秀雄 議員

- 芦原街道(県道福井加賀線)のあわら市区域の状況について



山川 知一郎 議員

- 国民健康保険の運営状況について
- 文化財の維持管理について



北島 登 議員

- あわら市の創造・活性化・再生について



吉田 太一 議員

温泉情緒あふれる華やきのまちづくり計画について

吉田 市は華やきのまちづくり整備を進めているが、観光協会や旅館組合との連携は、

まち歩きを楽しむために、景観づくりも配慮すべきではないか。足湯の新設は、市民の理解を得られたのか。

市長

金沢開業を見据え観光関連団体はもとより、各種まちづくり団体や地域住民も交えながら観光誘客に向けた協議、取り組みを集中的に実施したいと考えています。

旅館の廃業による景観については、優良な民間資本による再建を期待しています。

足湯はプロポーザル（提案型入札）に3社から提案があり審査会で最優秀となった提案を採用します。維持管理費の懸念に対しては、極力費用のかからない構造や機能となるよう、設計の段階で十分に検証したいと考えています。



本陣飾り物

市長

空き店舗解消へ、希望する地元区や家主と調整しながら展示施設の設置を進めます。

金津本陣にぎわいプロジェクトについて

吉田 空き家等を利用した本陣飾り物の設置はどのように計画しているのか。

金津祭りを市が全面的にPRすべきではないか。

JR芦原温泉駅前の整備に関して、将来の構想は。

金津祭りそのものを着地型商品として観光面でも積極的にアピールしていきたいと考えています。

駅前整備については北陸新幹線の工事認可の遅れに伴い駅前広場の線形変更が必要になってきます。庁内の検討チームに早急な見直しを指示しました。



牧田 孝男 議員

語り部育成が

必要では

牧田 新幹線金沢駅開業を前にして、あわら市はJR芦原温泉駅前周辺やえち鉄あわら湯のまち駅前、あるいは温泉街の大規模な整備を計画中だが、ハードの整備だけで誘客や活性化に結びつくとは思えない。肝心なのは語り部の存在ではないか。これまで多くのまちを視察研修してきたが、再び訪れたいと思ったまちの共通点として、様々なところを案内する面白い語り部を持った語り部が存在したことが挙げられる。

町並みをどんなに整備しても、そこに暮らす人たちの顔が見えなかつたならば、それはそれだけのことでしかない。まちを語る語り部を育成していくことが必要なのではないか。

市長 現在の観光は、着地型が求められており、これからの観光地づくりとして、地域資源の掘り起こしによる着地型観光の充実が特に語り部の育成が特に必要です。

平成23年に吉崎地区において11人から成る吉崎語り部の会が発足し、全員が県観光連盟の観光ボランティアガイド登録を行い、吉崎御坊案内などを行っています。

今後は、語り部や地元の人々との交流を通じて、訪れた地についての知識と愛着を深めたという観光ニーズに応えるべく、市内の観光



吉崎御山 案内の様子

スポットに広く語り部を配置し、リピーターの獲得に努める必要があります。

そのための方策として現在、市観光協会が行っている、あわら市おもてなしハンドブックを活用したマイスター検定合格者や各種まちづくり団体等に働きかけており、その結果、市民一人一人があわら市の語り部となつて、お客様をおもてなしするという機運づくりが進むよう努めたいと考えています。



八木 秀雄 議員

芦原街道は拡張できないのか

八木 芦原街道の交通量は年々増加し、しかも交通事故件数も多量というデータがある。

市は地元の意向を踏まえ、県と連携を取り拡張事業を早期に取り組みすべきではないか。

土木部長

芦原街道の拡張整備事業については、二国土木事務所が事業主体となり、坂井市内を中心に都市計画決定幅員の16mを基準に、整備が行われています。

一方、あわら市内では、都市計画決定もされずに、未着手となっている

のが現状です。

過去において、田中々や下番区内の整備について、地元関係者、芦原町、県の間で協議が進められていたと聞いています。

しかし、時間が経過し、公共工事予算が大幅に減少し、事業箇所を選択と集中をせざるを得ない状況の中で、整備ルートに芦原橋の活用や多くの家屋等の物件移転などの課題があり、事業未着手の状態が現在に至ったものと思われ

ます。また、道路の整備については、いずれの路線においても多額の予算と時間がかかることから、優先順位を付けて路線を選定し、県に要望しています。

現在は、都市計画道路の金津三國線の事業推進を最優先に要望しています。現在の計画は、芦原街道までの区間となっていますが、引き続き、二



芦原街道(田中々地係)

国町へ向かう道路延伸の事業化を要望することが優先されると思われ

市長

芦原街道の整備を進めてほしいとの気持ちはあるが、すべての道路を整備することはできないため、危険箇所の暫定的な解消を県に対して要望することが現実的であると思います。

市の優先順位の高い事業と位置付けするのは現実的には厳しいと思います。



山川 知一郎 議員

高すぎる国保税の引き下げを

山川知 昨年の国保税引き上げにより、あわら市の被保険者1人当たりの保険料は、県内9市で最も高いものとなった。市民からは「何とか引き下げしてほしい」との声が寄せられている。

国・県の負担を増やすよう強く求めるとともに、一般会計からの繰り入れを増やして国保税を引き下げるとともに、国保税算定基準の一つである資産割を廃止・軽減すべきと考えられているのか。

町並みをどんなに整備しても、そこに暮らす人たちの顔が見えなかつたならば、それはそれだけのことでしかない。まちを語る語り部を育成していくことが必要なのではないか。

市長 現在の観光は、着地型が求められており、これからの観光地づくりとして、地域資源の掘り起こしによる着地型観光の充実が特に語り部の育成が特に必要です。

平成23年に吉崎地区において11人から成る吉崎語り部の会が発足し、全員が県観光連盟の観光ボランティアガイド登録を行い、吉崎御坊案内などを行っています。

今後は、語り部や地元の人々との交流を通じて、訪れた地についての知識と愛着を深めたという観光ニーズに応えるべく、市内の観光

市民福祉部長

あわら市の国保税は高い水準にあり、滞納額が1億6千万円に上っています。なお、滞納者に対しての資格証明書の発行は101件、短期保険証は123件となっています。

国保税の引き下げについては、県に対して負担の増額を求めています。また、一般会計からの繰り入れは、困難であり、当面は、現状を維持したいと考えています。また、資産割についても、必要と考えています。

文化財の維持管理について

山川知 あわら市にはどれだけの文化財があり、その維持管理はどうなっているのか。

また、文化財の保存修理等に



阿弥陀如来坐像(東山・神明神社)

対する助成を増やすべきではないか。

教育部長 市内の文化財は国・県指定文化財も含め61件となっています。

市指定文化財の保存修理等については、国・県の補助がありません。市の補助金制度により事業費の2分の1以内、上限50万円の補助を行っています。参考ですが、坂井市の補助金は、事業費の2分の1補助で上限が500万円となっています。



北島 登 議員

あわら市の創造・活性化・再生について

北島 少子高齢化及び激しい地域間競争のなかで、人口減少が加速している。ふるさとあわら市の今後の創造、活性化、再生について、具体的にどのような夢、ビジョンを描き、どのような方針で、どのような方策を講じていくのか。また、若い方が「住む」ということに対してのニーズは、どこにあると考えるか。

えています。そのためには、多くの人にあわら市へ来ていただき、あわら市のことを好きになっていただき、あわら市に住み続けていただくための政策と施策の展開が重要になります。

「若い世代が住んで、生んで、育てていく。まちには、あわら市が次なる飛躍に向けて取り組むべき政策です。」
そして、その実現のツール(手段)となるのがH.E.E.C.E構想事業です。31の事業を展開しているH.E.E.C.E構想事業は、目に見えて効果があらわれている事業間接的にその効果のわかる事業など、効果はさまざまですが、市民アンケートの結果などからは、多くの市民の皆様から事業について肯定的な評価をいただいています。

市長 まちの活力は、そこに集い、暮らす人々の活気に比例すると考

えています。今後のまちの活力とともに知恵を絞り、汗をかきながら重要政策

■あわら市の人口の推移

平成2年	31,743 人
平成7年	32,432 人
平成12年	32,178 人
平成17年	31,081 人
平成22年	29,989 人

(国勢調査より)

である若い世代が住み、生み、育てていく。まちの実現と、H.E.E.C.E構想の充実に取り組みたいと考えています。

平成25年5月 第65回あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案	議決結果	議員																		
		吉田 太一	森 之嗣	杉本 隆洋	山田 重喜	三上 薫	八木 秀雄	笹原 幸信	山川知一郎	北島 登	向山 信博	坪田 正武	丸谷 浩一	牧田 孝男	卯目ひろみ	宮崎 修	山川 豊	東川 継央	杉田 剛	
専決処分の承認を求めることについて(平成24年度一般会計補正予算(第10号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて(税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定	可決	X	○	○	○	○	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
郷土歴史資料館条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市民文化研修センター条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
図書館条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
TPPから食とくらし・いのちを守る意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
食料・農業・農村の発展に向けた意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
年金2.5%の削減中止を求める請願	不採択	X	X	X	X	X	X	X	X	○	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
特急列車廃止・削減反対の意見書提出を求める請願																				

継続審査

請願・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●年金2.5%の削減中止を求める請願

【要旨】

物価スライド「特例水準の解消」を理由として、3年間で年金を2.5%削減する法律が成立した。しかしながら、生活必需品の値上げ、復興税等の増税、社会保険料の増額など高齢者の生活が厳しさを増している。よって、2.5%の年金削減を中止することを求める。

【提出者】 全日本年金者組合 福井県本部委員長 山野 寿一

【結果】 不採択

【不採択理由】

特例水準は時限的な緩和措置であり、物価スライドを元に戻すことはいたしかたない。

【賛成意見】

ガソリンや灯油、食料品の値上がりに加え、増税や社会保険料の値上げで、高齢者の生活は厳しくなる一方である。こういう時に、年金を引き下げ、許されない。「生活できない年金」では、若者の「年金離れ」を加速し、「年金制度の崩壊」へとつながってしまいます。

●TPPから食とくらし・いのちを守る意見書

【要旨】

TPPは農業だけでなく、食の安全・安心基準の緩和や外国企業が国を訴える投資家・国家訴訟(ISD)条項の導入など、国のあり方にも重大な影響を与えるものである。政府は「聖域なき関税撤廃を前提とする限り交渉参加しない」ことを堅持することが肝要で、特に、関係国との事前協議等に関する情報を十分に開示せず国民的議論のないままTPP交渉に参加することは、国民の理解を得られず、断じて認めることはできない。



●食料・農業・農村の発展に向けた要請

【要旨】

農業所得増大と農業経営の安定により、将来に希望の持てるよう地域農業と農村の発展に向けて次の事項について特段の取り組みを要望する。
・農業政策について
・集落営農組織や法人組織の育成について
・地産地消による県産農産物の生産強化と消費拡大について

【提出者】 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一

【結果】 国へ意見書提出 農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

●あわら市農業対策に関する各種要請

【要旨】

- ① 有害野鳥対策に関する要請
- ② 小動物(ハクビシン等)害対策に関する要請
- ③ 稲カメムシ等の防除に関する要請
- ④ 農業用ビニール等の廃棄物処理に関する要請
- ⑤ 園芸・畜産の活性化と振興に関する要請

【提出者】 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一

【結果】 農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

【結果】 厚生経済常任委員会より、市へ積極的に取り組むよう要望。

●市内業者の育成に対する要望

【提出者】 あわら市商工会

【結果】 会長 久野 好輝

議会日誌

おもな会議のみ掲載

4月11日 全員協議会

23日 環境対策調査特別委員会
議会報告会

24日 中心市街地活性化調査
特別委員会

議会報告会

25日 議会報告会
30日 議会報告会

5月13日 議会運営委員会
全員協議会

15日 議会活性化特別委員会

20日 第65回議会定例会 閉会

広報編集特別委員会

21日 総務文教常任委員会

22日 厚生経済常任委員会

24日 議会運営委員会
全員協議会

第65回議会定例会 閉会

27日 広報編集特別委員会

6月21日 広報編集特別委員会

27日 広報編集特別委員会

7月1日 全員協議会

第66回臨時議会 初議会

ふるさと探訪

「熊谷 五右衛門」

あわら市庁舎南側に熊谷五右衛門翁の胸像が建っています。翁はどういう人だったのでしょうか。

翁は慶応元年熊坂生まれ。県議17年在籍、衆議院議員在職中は杉田定一派の中心として活躍。九頭竜川の改修や北陸本線の牛ノ谷駅、春江駅の新設に尽力したことで有名です。熊谷家は素封家でしたが、明治6年に父を、12年に母を失い、15歳で家督を相続し、社会人としての活躍が始まりました。翁は坪江村会議員、坂井郡会議員、坪江村長、丸岡町長を努め、明治26年、28歳で福井県議会議員となり、杉田派に属して九頭竜川堤防の改修と、三国線の開設に全力を尽くしました。明治38年の臨時県議会における「治水に関する建議」は有名です。明治41年から44年までは、第21代議長に選任され、県政に寄与するところ絶大でありました。日清・日露の戦後で、県財政が貧困を極めていた当時、県議会で活躍しました。

その後、衆議院議員に当選し、大正10年、翁年来の努力で、牛ノ谷駅が新設されました。大正15年には春江駅を新設し、春江織物を全国に発送したので機業の町に発展したのです。

終生、「金を失う事は小さな損失、名誉を失う事は大きな損失、信頼を失う事は政治家にあらず」を座右の銘とし、明治、大正、昭和の三代にわたって社会に尽くしてきた翁は、昭和17年に77歳の天寿を全うしました。(牧田)



編集後記

早いもので広報編集特別委員会に所属し、議会だよりを作り続けて2年が経過します。今回の第37号で、議会の改選に伴い委員の任期も満了となります。

2年間で議会だよりを8回発行してきましたが、編集方針は「できるだけ自分達の手でつくる」としたので、編集会議では、どの記事も載せるか、また言い回しは簡単に、見た目でわかるようにと、毎回活発に協議し、苦勞して作り上げてきました。一通り自分たちの手で作り上げ、仕上がった「議会だより」は愛着もひとしおであります。

さて、大変うれしいことがありました。議会報告会を行った際に市民の方から「最近の議会だよりは読みやすく、良くできている」とのお褒めの言葉をいただきました。

今後とも議会だよりをご愛読いただきますようお願い申し上げます。(笹原)

編集・発行責任者

議長 笹原 幸信

市議会広報編集特別委員会

委員長 笹原 幸信

副委員長 牧田 孝一

委員 杉本 隆洋

委員 山田 知郎

委員 坪川 正武

委員 山田 知郎

委員 坪川 正武

委員 山田 知郎

委員 坪川 正武

委員 山田 知郎

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

